

技術提案書作成要領

1 技術提案書の内容

技術提案書の内容は下記のとおりとします。

技術提案書（様式3）

- (1) 事務所名
- (2) 技術者の状況等（技術提案者：建築）
 - ① 技術者の状況
 - ② 主要業務・類似業務の実績
 - ③ 業務の実施体制
- (3) 技術者の状況等（技術提案者：設備）
 - ① 技術者の状況
 - ② 主要業務・類似業務の実績
 - ③ 業務の実施体制
- (4) 実施方針
- (5) 提案内容

2 書式及び提出枚数

- ・ 用紙の大きさは、A4サイズとします。
- ・ 構成は上記の(1)～(3)までを1枚、(4)を1枚、(5)を1枚の計3枚で一式とし、それぞれ表面のみに記載してください。（裏面には記載しないでください。）
- ・ 別紙の追加は認めません。

3 記載にあたっての留意事項

それぞれの項目の記載にあたっては、以下の事項に留意してください。

- (1) 事務所名について
 - ・ 貴社の事務所名称を記載してください。
 - ・ 整理番号欄は記載しないでください。
- (2) 技術者の状況について
 - ・ 貴社の技術者の数を資格毎に記載してください。
 - ・ 複数の資格を有する技術者については、いずれかひとつの資格の保有者として取り扱ってください。（ただし、構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士については、一級建築士の内数とします。）
 - ・ 一級建築士、二級建築士、技術士、建築設備士以外の有資格者（各種施工管理技士や消防設備士など）及び無資格技術者は「その他」欄に記載してください。
- (3) 主要業務・類似業務の実績について
 - ・ 現在までに携わった、主だった業務、類似業務の実績について記載してください（総括責任者と主任技術者が同じ業務を記載してもかまいません）。
 - ・ 上段にはプロポーザル説明書3(1)⑥に掲げる業務実績を1業務記載してく

ださい。

- ・ 下段には上記を除いた主要業務及び類似業務を、ともに5件まで記載してください。

- ・ 類似業務とは、今回検討する建物用途に類似したものとします。

(4) 業務の実施体制について

- ・ 今回の技術提案書の検討及び設計者として選定された場合に設計業務に携わる方を記載してください。なお、共同提案者については、総括責任者及び主任技術者のうち一方を電気設備担当、もう一方を機械設備担当として下さい。
- ・ 設計業務について全般的かつ総合的な役割を担う総括責任者及び総括責任者を補佐し設計を進める主任技術者の氏名、年齢、経験年数とともに、経歴、実績、資格（国家資格及び民間資格※）等について記載してください。

(※ 今年度から追加しました。例：登録建築家（JIA）、JSCA建築構造士（JSCA）、JABMEE SENIOR（JABMEE）、建築コスト管理士・建築積算士（BSIJ）、専攻建築士（JABA）など）

なお、総括責任者及び主任技術者の必要資格（技術提案者は一級建築士、共同提案者は設備設計一級建築士、一級建築士または建築設備士）の取得年は必ず明記してください。

(5) 実施方針について

- ・ 業務への取組み体制・取組み姿勢、設計担当者・設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項（提案を求めている内容を除く。）、その他の業務実施上の配慮事項等を文章により簡潔に記載してください。
- ・ 設計チームの実績を示す写真等を使用することは支障ありません。

(6) 提案内容について

- ・ 提案は、基本的考え方を文章、模式図、イラスト、ゾーニング等で簡潔に記載してください。
- ・ 業務を実施していく上で重要と考えられる設計提案や対処方法（発想、解決方法等）を提案してください。
- ・ その他、業務を実施するにあたり、重要と考えられる新たな視点を独自提案として提案してください。
- ・ 図面等の具体的な表現については減点としませんが、文章と整合性のないイメージ図等の表現は減点の対象となる場合があります。

(7) その他

- ・ フォントサイズを8ポイント以上としてください。
なお、写真等の説明文及び文書を補完するためのイラスト、ゾーニング図等の説明文、注記文等は除きます。
- ・ 技術提案書については彩色、カラーコピーは支障ありません。
- ・ 記載事項に過不足がない限り、独自により作成しても支障ありません。（手書きで記載してもかまいません。）
- ・ 記載にあたっては、別添「技術提案書 記載例」を参考に記載してください。